事業名	事業期間	R6年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途(申請時点)	対象経費 (千円)					
ドローンによる活力ある中山 間地域まちづくり事業	R2-6年度	3,664	1,832	中山間地域における課題である買い物等の日常サービスの利用と林業経 営の持続化に対応する手段として、ドローンを活用した買い物弱者対策	ドローン実証試験 ・社会実験を想定した飛行ルートでの実験実験・事故対応研修 委託科、3,000千円 米委託先: 企画コンペにおいて選定予定	3,000					
				と造林業労働の中でも負担が大きい造林作業の効率化や森林資源管理の 低コスト化を主要な取組に位置づけ、日常生活の利便性を確保すること で地域住民が安心して暮らし続けられるとともに、主要産業である林業 生産性の向上を図ることで林業経営の持続化と安定した収入の確保によ	「いわて未来技術社会実装推進会議」 ③ 事業の進捗管理 422千円 委員等施金 260千円 委員等施金 36千円 消耗品等 50千円 会場使用料 76千円 ② 最終成果報告会開催 242千円 有識者制金 77千円 有識者教金 145千円 会場使用料 20千円	664					
いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業	R4-6年度	47,803	47,803 23,901	1 沿岸部・中山間部の小規模校で実施している「高校魅力化(地域住民 等と連携し、地域課題に探究的に取り組むことで、生徒の自立性・協働 性等を高めるとともに地域への当事者意識を育み、地域の担い手を育成 する取組)」を持続可能なものへと深化させるとともに、沿線部の大規 模校を含む全県に横展開していくことで、県内全域で高校魅力化を中長 期的に進める。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱ ・特定非営利活動法人いわて連携復興センター	2 地域における探究活動(地域課題解決型プログラム)の促進	9,666					
					よる「まちづくり」授業、探究の取組を地域内外に発信。【報信費3,350千円、旅費1,400千円、需用費2,150千円、役務費500千円、使用料6,850千円】 ②生徒の探究活動を先実させるための教教や関係省等の学びの場の創設【報信費96千円、旅費166千円】 3 魅力化事業の理念や方向性の金県共有・先導的取組の横原開 ○「魅力化フォーラム」を開催して、魅力化の取組を先導する地域から招聘した講師による講演やパネルディスカッション等を通して、市町村等との連携促進を図	14,512					
					る。 【報債費96千円、旅費137千円、使用料323千円】 4 魅力化の客観的な評価指標の導入 ○県内の魅力化モデル校で導入実績のある魅力化指標を導入し、デジタルアンケート調査により、生徒の自立性・協働性・探究性や地域への当事者意識等を見える化	7,150					
					するとともに、「前中度からの仲む」「学年による遠い」「他地域との比較」により事業の容観的な評価・検証を推進。 【委託将7,150千円】※奏託先:三妻UFリサーチ&コンサルティング樹 5 典態力化プロデューサーの配置・訪問支援						
					○全県の統括プロデューサーとして「県魅力化プロデューサー」を配置し、学校や地元自治体への訪問支援を実施。各校魅力化の取組を支援。 【機備費768千円、振費220千円】 6 県外募集「いわて留学」に関する広報のバックアップ ○地域みらい留学園別相談会への参加、リーフレットの作成・配架等により、県外募集を実施する県立校13校について、「いわて留学」として、一体的広報支援を実施	988					
					【熱質のFFI、満用費のFFI】 若者による地域の魅力発信 現内の若者活動交流拠点を中心に若者の新たな活動を促進させ、それを広く発信していくことで、岩手への新しい人の流れを生み出す。 (1) いわて若者カフェ(県が設置・運営している若者活動交流拠点)を核とした若者活躍支援体制の構築 【6,257千円】※委託先:特定非営利活動法人いわて連携 復興センター のが指定する連携拠点との協働によるイベント・交流会の開催経費 【委託料4,402千円】 〇いわて若者カフェを含む県内の電者活動交流接点に係る情報発信器費 【委託料3,855千円】 (※) 大学生を含む県内外の電者活動交流接点に係る情報発信器費 【委託料8,657千円】※委託先:企画コンベにおいて選定予定 若省による構造や活動の発表機会を創出するとともに、岩手で活躍する若者の活動内容をオンラインでも広く発信 (※) 著者の文化芸術活動への支援【2,000千円】 ・補助目的(報時性)に対する手は大きに、岩手で活躍する若者の活動内容をオンラインでも広く発信 (※) 著者の文化芸術活動の発表機会を創出するとともに、岩手で活躍する若者の活動内容をオンラインでも広く発信 (※) 前の対象となる者:非常利目の著者団体 ・補助対象となる者:非常利目の著者団体 ・補助対象となる者:非常利目の著者団体 ・補助対象とまる者:非常利目の著者団体 ・補助対象となる者:非常利目の著者団体 ・補助対象となる者:非常利用の著者団体 ・補助対象となる者:非常利用の著者団体 ・植物対象:活者団体が従手県内で開催する文化芸術イベントに要する経費 (但し、食糧費、備品構入費、事務局経常費等は補助対象外とする) ・上級額:100万円 ・件数:2件(予定)	14,931					
新たな地域資源創出による三陸交流拡大プロジェクト	R4-6年度	R4-6年度	R4-6年度	R4-6年度	R4-6年度	-6年度 33,300	.6年度 33,300	16,650	興の取組により大きく進展したまちづくりや交通ネットワーク、港湾機能などを活用しながら、「防災の学び」や「三陸ならでは」の食材を活用した特産品開発など新たな地域資源の創出により、人的・経済的な交流の拡大を図る。 また、専門人材等を活用しながら、観光地域づくり関係者や地域防災関係者と連携した取組を実施し、観光消費額を引き上げるとともに、新たな雇用・収入の創出による移住・定住の促進を図る。	1 防災の学びによる観光地域づくり強化事業 専門人材率による、観光と防災周面からの沿岸地域のマーケティング調査とデータ活用分析、各市町村等への政策へのフィードバック、観光地域づくり関係者と防 実関係者との連携による受入体制整備や防災教育を軸とした教育旅行、企業・大学研修などの着地型旅行商品造成を担う人材育成や、伝承施設や震災遺構、防災イン フラ等の基手県沿岸ならではの地域資源を生かした観光コンテンツ創出、沿岸地域の情報発信等を実施。 ●負担金 24,531千円 (内限に以下のとおり) ① (公財) さんりく基金への負担金18,531千円 ・ 復興防災策形プロデューサー2名 人件費14,933千円、旅費416千円、パソコンリース料338千円 ・ 防災を学習する場づくりコーディネーター1名 人件費2,700千円、旅費144千円 ②三陸シオバーク推進協議会への負担金6,000千円 再認定 (R5) を踏まえた、地域資源 (震災の教訓・防災等) を活かしたコンテンツの見直し	24,531
				【事業実施体制】 -部、下記事業者に負担金を支出し、事業を実施。 ・ (公財) さんりく基金 ・岩手県三陸鉄道強化促進協議会	2 「防災を学習する場づくり」指進事業 多様な主体が連携・協働しながら三陸の地域振興を推進する「三陸振興協議会」を運営。「防災を学習する場づくり」に向けた検討、各主体と連携した事業実施。 ●破債費 675千円(協議会構成員制金、専門家派費) ●新費 109千円(協議会構成員、専門家派費) ●使用料 109千円(海標品、協議会条業代等) ●使用料 43千円(会議変使用料)	1,360					
					3 復興防災コンテンツを活用した交流人口拡大促進事業 (1) 三陸鉄道のマイレール利用等促進 3,650千円 ●保佐世代に向けた地域イベントの開催と企画列車の連行 ●負担金 3,650千円 (当手県三陸鉄道整体促進協議会への負担金) 内訳:マイレールさんでつ推進 1,050千円 (地域と防災を学ぶイベント:南部エリア) 企画列車造成支援 2,600千円 (地域資源を活かした企画列車)	3,650					
					4 さけ、ます海面養殖イノベーション推進事業 新たな養殖対象として期待されるサケ・マス類の海面養殖の振興を図るため、「いわてオリジナル」のサクラマス種苗の開発による競合他産地との差別化、ICTの導入による種苗生産体制の強化、海面養殖用租魚の種卵供給体制の構築に取り組む。 ●需用費 3,759千円(餌料、消毒液)	3,759					
いわての地域産業DX推進事業	R4-6年度	22,867	11,433	県内中小企業のデジタル化に向け、商工団体や支援機関が一体となり、相互に情報共有しながら伴走型支援体制を構築するとともに、ものづくり企業や、商業・サービス業のデジタル化についてより専門的な支援を行うためのメニューを充実して地域産業のデジタル化を効果的に進め、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出し、岩手への新たな人の流れの創出を図る。 【実施体制】 一部、(公財)いわて産業振興センターが事業主体となって実施している。 また、一部、下記事業者に委託し、事業を実施。・(株)京屋染物店	1 中小企業デジタル化を関連への口をに向けた作走支援体制の構築・県内での事例展開によるニーズ掘り起こし拡大 (1) 中小企業デジタル化を提ネットワークの憲営 702F円 構成団体による金件会議開催、モデル事例共有・分析等 (事業内容) ・構成団体によるデジタル化支援策の一元的情報発信、県内デジタル化モデル事例の共有、分析 (事業内容) ・講師謝念・旅費 265F円、会議開催経費 (消耗品、郵送料、会場使用料)437F円 (2) 中小企業デジタル化支援ネットワークコーディネーター設置 1,614F円 (補助先: (公別) いわて産業振興センター) コーディネーターを設置し、デジタル化相談案件への対応を行いながら、支援者の相談対応力を強化し、支援事例を横原関してデジタル化ニーズのさらなる掘り起こしを行う。 (事業内容) ・コーディネーターによるデジタル化相談案件への対応を行いながら、支援者の相談対応力強化 ・支援事例の機原関による、デジタル化相談案件への対応を行いながら、支援者の相談対応力強化 ・支援事例の機原関による、デジタル化相談対応、ケース検討会議による支援者の相談対応力強化 ・支援事例の機原関による、デジタル化一ズのさらなる振り起こし (事業費) ・コーディネーター人件費・旅費 1,477F円、モデル事例に係る事例発表者謝金・旅費 137F円 (コーディネーターを設置する (公別) いわて産業振興センターへの補助) 2 ものづくリ生産規場のDXシステム構築による生産プロセス最適化に向けた手架技術支援、実施実験の実施 (1) ものづくリDXシステム構築による生産プロセス最適化に向けた手架技術支援、実施実験の実施 (1) ものづくリDXシステム構築による生産プロセス最適化に向けた手架技術支援、実施実験の実施 (1) ものづくリDXシステム保険を設定を設定しまる大学の企業を開催とシター) アプログラミング接向支援、各等によるを対象の高度化や、存生型の課題解決による人材育成支援発注者の要望に対し、デジタル技術により、品質を保ちながら迅速に対する大きのよの大学指して、 (事業内容) ・内でクラミンが接向定義、外等の内接向主義を開発と通じた企業技術者の育成 ・プログラミング接向定義、外等の出た対文を表と表別 ・人件費(信門家、技術コーディネーター等 調金・旅費)4,314F円 ・消化品費(各種センサー、生産工程改善分析消耗品等)156F円 ・研究費(技術認施財共研究等)1,000F円 イ工経費の発展を検討した企業等による、デジタル技術等の問准 仮想的な企業間連携を検射した企業等による、デジタル技術等の問用を 仮想的な企業間連携を検射した企業等による、デジタル技術をの開発を議算の実装に係る技術的な課題等を検討する。 (事業内容) ・リアルハッカソンの取組成果の修告、デジタル技術等入の最近に向いては企業負担 ・リアルハッカソンの取組成果の修告、デジタル技術等の最近に向いた金業に係る対術的な課題等を検討する。 (事業内容) ・リアルハッカリンの取組成果の修告、デジタル技術等の最近に向いては企業負担 ・リアルハッカソンの取組成果の修告、デジタル技術等の最近に向いては企業内が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別にあると表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	2,316					
					・ 消耗品費 (各種センサー、生産工程改善分析消耗品) 36千円 、 条企業への導入費用については企業負担 ウ ものづくり企業のプラル化における光維的なモデル事例の創出及び普及 ものづくり企業の受注・生産・納品に至る一連の生産プロセス全体の最適化を図る先進的なモデル事例を創出する。 (事業内容) ・ 生産ラインへの実後に係る課題と選用検証等 ・ 研究成果の報告・公表 (成果発表、パンフレットによるPR等) (事業費) ・ 人件費 (専門家、技術コーディネーター等 謝金・旅費) 4,191千円 ・ 工業技術センター研究費 (技術選問解決・実証化研究) 3,600千円 (2) ドローンの利力無用に係る監定実験やの実施 2,712千円 ア ドローン活用実証実験経費 2,612千円 1 ~ 2 年目の東芝ま実験から得られた知見をもとに、データ連携などドローン活用のモデル事例の創出や、ドローン活用に向けた人材育成のあり方を検討するための実証実験等を実施 人件費 (専門家、大学教員等) 割金・旅費 1,500千円 ドローンレンタル費・消耗品等 1,112千円 イ 関係信能のドローン海、排乱品等 1,112千円 イ 関係信能のドローン海、消耗品等 1,112千円 イ 関係信能のよりに対していた。 第4年日 (基準日本) ・ 中小企業を対象としたアジタル化及びDXのメリットを伝える研修会 (上級細) 事業を向け電及啓発セミナー講師御金・旅費 4,034千円 【委託科4,034千円】 ※委託先・(株)京屋染物店 イ 支援機関の職員を対象としたDX用進に向けた研修会 (実践編) 文援機関の職員を対象としたDX用進に向けた研修会 (実践編) 文援機関の職員を対象としたDX用進に向けた研修会 (実践編) 文援機関の職員を対象としたDX用進に向けた研修会 (実践編)	4,494					

★地方創生関連交付金を活用したR6年度事業における交付金の具体的な使途等について

事業名	事業期間	R6年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途(申請時点)	対象経費 (千円)
地方志向の高まりを生かした 関係人口・移住創出による地 域づくりの担い手確保事業	R4-6年度	57,610	28,806	地方志向の高まりを捉えて地域づくり活動の担い手を確保するため、、 地域課題の解決を念頭に本県と首都圏の若者との人的交流を促進するこ とで共助機能の補完を図るとともに、生活環境を整備し、交流から移住 までの様々な関わりを通じた持続可能な地域コミュニティの形成を図 る。 【事業実施体制】 一郎、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・(株)雨風太陽 ・ロントラ(㈱) ・(㈱岩手朝日テレビ ※その他選定中。	関係人口創出・拡大事業 (1) 複素を通じた地域と関わりを深めるモデルの構築 【オンライン・現地訪問】 6,116千円 (委託料) ※委託先:未定 ・オンラインも活用しながら2年目までと異なる地域やテーマによる首都圏人材と県内地域・企業との複葉マッチングの実施 ・市町村と協働し、首都圏人材の地域イベント等への参画を通じた地域住民との交流機会の創出による関係性深化のモデルの構築 ・事業の自走化に向けた地域づく (別応等との連携検討 (2) 地域の共同中華ペランティア活動等への参画を通じた地域と関わるモデルの構築 「現地訪問】 1,072千円 (報債費471千円、級額87千円、旅費432千円 (有議者招へい)、需用費6千円、使用料76千円) ・地域の共同作業ペポランティア活動への参画等を通じた地域と関わるモデルの取組情報等を市町村と共有する研究会の開催や専門家の派遣による模展開の支援の実施 (3) 岩毛の農業・農村に関わるための情報発信 ・就農ボータルサイト等を活用した治学・県北広域振興圏の農業や農村の暮らしの魅力発信 4,466千円 (委託料) ※委託先:未定 ・設農ボータルサイト等を活用した治学・県北広域振興圏の農業や農村の暮らしの魅力発信 4,466千円 (委託料) ※委託先:未定 ・設農ボータルサイト等を通じた地域をの傾わり創出に向けたプロモーションの展開 【一定期間滞在】 2,116千円 (委託料) ※委託先:未定 ・溶治施放と連携し、ワーケーシン等で等日本に募した方で上の場合文の保護開間 (32) 連携別 ・開発されたプログラムをはじめ、県内の地域課題解決型の受入プログラムの開発及び保護開 (32) 連携) ・開発されたプログラムをはじめ、県内の地域課題解決型の受入プログラム等のSNSを活用したプロモーションの実施 (3) お話し就業・お試し居住に係る宿泊滞在費や修費については参加者が負担) ・県外に住む若者等に県内企業でのお試し就業・お試し居住による地域全体の魅力を体験する機会の提供に必要な企画立業及びコーディネートの実施	21,832
					若年層等の移住・定住促進に向けた環境整備事業 (1) 移住者用の住居環境の整備 ・家具等を整備した県営住宅における、移住・定住検討者への短期間居住の機会の提供の継続と利用者ニーズの把握による移住・定住の促進 26,410千円 (委託	26,410
					・ 永天中で 北海 じ、沢南 日では、50、 60 年 7 北下 60 日 7 北下 60 日 7 北下 60 日 7 北下 60 日 8 日 7 日 7 日 8 日 7 日 7 日 8 日 7 日 7 日 8 日 7 日 7	9,368
いわて加速器関連産業振興事業	R4-6年度	23,403		岩手県が地方創生の基本目標の一つに掲げる「岩手で働く」の実現に 資するため、新たな成長産業として振興を目指す加速器関連産業への参 入を進め、本県のものづくり産業の生産性の向上、新たなサービスや製 品開発などイノペーションの創出による県民の所得向上や質の高い雇用 機会の拡大を図るとともに、県内の学生等に加速器の高度な技術に触れ る機会を提供することで、本県のものづくり産業全体の人材の育成と確 保、定着の好循環を実現する。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・公益財団法人いわて産業振興センター	加速器関連産業参入促進支援事業 加速器関連産業参入促進支援事業 (委託料: 23,403千円) ※委託先: 公益財団法人いわて産業振興センター (1) いりて加速級関連産業研究会の運営 県内企業の参入促進や技術力向上を目的としたセミナーの開催 (講師制金・旅費) 1,116千円 ※整備した性能評価機器の活用事例を県内企業に紹介し、参画企業を拡大していく。 展示会・学会への参加(負担金・旅費) 303千円 (2) コーディネーター配置による県内企業のマッチング支援等 コーディネーター記載度(副金・旅費) 19,744千円 ※整備機器の更なる活用変建。共同開発の成果を受注援得につなげる。 (3) 性能評価機器を用いた研究者による技術指導・県内高校生等の人材育成等 研究者指導に係る費用(謝金・旅費) 2,240千円	23,403
北いわてプラチナシティ推進 事業	R5-7年度	2,763		・なが明白は大いのした未飲味センター 「プラチナ社会」をモデルに、パイオマス資源の活用などの先進的な経 済循環モデルの構築、産学官で構成されるコンソーシアムの運営を通じ て、北いわてを自律的な課題解決と成長が好循環する持続可能な地域へ と革新する。	並いわてにおけるバイオマス資源活用推進事業 (1) 木質バイオマスを生かした地域内エコシステムの構築 798千円 (旅費248千円、報債費450千円) ・北いわて地域での放炭素化やバイオマス資源を活用した経済循環・デル構築に向けて、専門家による企業を対象とした個別相談会等を実施し、実験化につなげるもの。 (2) ブラチナ構想ネットワーク派遣講師等による研修会 798千円 (旅費450千円、使用料44千円、報債費304千円) ・地域が目指すべき将来像採定や地域の将来を担う人材育成を図るため、研修会等を実施する。 北いわて産業・社会客新推進コンソーシアルの選営	1,596
				【事業実施体制】 「北いわて産業・社会革新推進コンソーシアム」を活用し、事業を実 施。	「北いわて産業・社会革新推進コンソーシアム」の機能を活用し、地域課題の解決に向けた先進的な取租事例の発表を適じて、ノウハウの共有や模展開を図る。 (1) シンポジウムや勉強会の開催 793千円(報債費259千円、使用料141千円、備用費20千円、旅費373千円)	1,167
デジタル人材の育成・起業支援事業	R5-7年度	34,230		DXの推進のため、デジタル人材の育成に加えて、起業や地域定着に至るまでを切れ目なく支援することによって、デジタル技術を活用した競争力のある企業をつくり、地域全体としてDXを進展させ、地域経済への好循環を生みだすもの。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・ 機ネクスト ・ 東京大学松尾研究所 ※その他選定中。	 リスキリングによる企業等のDX推進の核となりうるデジタル人材の育成や、地域のDX推進を図る 労働者等の創出を目指し、段階に応じたプログラムを提供する。 (1) デジタルリテラシーセミナー(経営者向けセミナー)日数:1日経営者等に対し、DX推進の成功率明共有する等、意識改革を行い、 従業員のリスキリング度を推進する。 講師謝金・旅費等106千円 (2) デジタルスキルアップセミナー(労働者向けセミナー)日数:2日×5テーマ×各2回(対面1、オンライン1)	8,923
					A I 人材育成・社会実証推進事業 東京大学松尾研究配と連携し、一関高専を核とした、習熟度・理解度に応じた A I 人材育成講座を 開催するともに、地域におけるAI制活用を進めるため、産生官連携による研究会を開催し、AI社会 実証を推進する。 また、東京大学松尾研究窓や香川高専とのつながりを生かし、県内の高等教育機関が、地域課題 や企業の経営課題解決に責するAI技術の利活用促進や、AI技術による事業創出を支援し、学生等 のAI人材の地域への定着を促進する。 (1) 人材育成事業 2.648千円 - 講師強金、統要者・448千円、AI人材育成講座委託料 2.200千円 ※委託先:東京大学松尾研究室 (2) AI人材起業促進事業 2.459千円 - 講内企業と連携したAI利活用や新規事業創出に係る補助 1,000千円 - 機力企業と連携したAI利活用や新規事業創出に係る補助 1,000千円 - 機力企業と連携したAI利活用や新規事業創出に係る補助 1,000千円 - 機力企業と連携したAI利活用や新規事業創出に係る補助 1,000千円 - 機力企業と連携したAI利活用や新規事業創出に係る補助 1,000千円 - 機力企業と連携したAI利活用のアイデアの 実現性を評価するための試作品開発経費を補助することにより研究開発等を進め、 地域返題や企業の経営課度解決に責するAI技術の別活用促進や、AI技術による 事業創出を支援し、学生のAI人材の地域への定着を促進する。 - 補助対象者:県内高等教育機関 - 補助上限限等:500千円 (定額) × 2 か所 - 高専起業の極速情勢のため、東大地居・高専機構と連携し、高専起業家の交流による メンタリングブログラムを開催する費用の補助 1,000千円 - 松尾研講師、投資等等によるアークショップ謝金・旅費 459千円 - 講師謝金・会場使用科等 468千円	5,575
					記案・スタートアップ支援事業費 12,731千円 関内の産学室金の関係団体が参画して設置した「いわてスタートアップ推進プラット フォーム」により、市町村や金融機関、産業支援機関、大学をはじめとした県内の様々な主体 との連携を強化し、起業のステージやパターンに適したプログラムの提供により起業家を支援する。 ・アクセラレーションプログラムの実施 委託料 11,000千円 米麦比売・未定 ① 対象社・5~10社程度 ② 内容:メンタリングプログラム、組織体制強化支援、マッチング支援、コミュニティ形成等 ③ いわてスタートアップ推進プラットフォームにおける取組との連携 いわてスタートアップ推進プラットフォームにおける取組との連携 いわてスタートアップ推進プラットフォームにおける取組との連携 いわてスタートアップ推立プラットフォームが目指す「継続的に起業家を生み出す仕組みづくり」に向け、1年目の支援対象者が先輩起業家として、後輩 起業家へフォローフップを行う。 1年日、2年目の支援対象者のほか、場内に活動拠点を持つ起業家や起業を志す者による コミュニティ形成を図るとともに、いわてスタートアップ推進プ ラットフォーム参加団体とよるステージに応じた支援側の体制的数を行う。 ・プラットフォーム参加団体との連絡会議等を開催し、情報共有と効果的連携を行う体制を構築する。 いわてスタートアップ推進プラットフォームボータルサイト運用・起業家情報発信支援業務委託 委託料 1.300千円 米委託先:未定 1年日に作成したポータルサイトを継続運用するとともに、起業家の紹介記事等を作成・発信することにより、起業家のPR支援を行う。 (2) 学生・若者への起業家教育を行うへ及だ支援的研修の実施 委託制 6.430千円 米委託先:未定 起業・スタートアップ有成のため、起業間形な金から起業をから起来を自然の者を対象とし、事業の拡大 に必要な知識を学習する実践的な研修を行う。(内容:企業経営に必要な知識(事業計画策定、 企業会計等)) また、地域経済の中様を担う経営人材を育成するため、県内の大学生や若手社会人を対象とし て、実践的な起業家教育を行うとともに、「岩手イ/ベーションペース」と連携した起業家予備軍 の支援を行う。 (3) 内容:途等、ワークションプロほか、起業家による関係やイールドワークなど はか、当手イノベーションペースと連携した起業家予備軍の勉強会、起業入門研修など なお、2年目は、民間移行に向けて経費解析を図る。 (3) 市町村への産業支援アドバイザーを希望する市町村に派遣し、事業計画 作成や支援事業の企画・実施への助きを行う。 なお、2年目は、民間移行に向けて経費解析を図る。	19,732

★地方創生関連交付金を活用したR6年度事業における交付金の具体的な使途等について

事業名	事業期間	R6年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途(申請時点)	対象経費 (千円)
DX・GXの推進による農業 水産業の生産性・市場性向上 事業	R5-7年度	51,441		農業生産者の減少・高齢化に対応するために、データ駆動型農業の導入により農業の生産性・市場性の向上を図るとともに、持続可能な食料システムの構築に向けて、地球温暖化への適応や環境保全型農業を進める。また、マーケット分析に基づいた販売戦略の策定、生産者と連携しながらDX等による効率的かつ効果的な販路開拓・拡大を進める。 【事業実施体制】 一郎、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・オヤマダエンジニアリング㈱ ・岩手花平農業協同組合・農事組合法人ミルクの郷・花巻農業協同組合 ・農料団法人連野市畜産振興公社・新岩手農業協同組合	データ駆動型農業推進事業 「いかて農業の K程連連機会議」は生産現場への運解促進に向けた技術交流会等を実施するとともに、推進体制を充実するため、会費等独自の財源による自立した 組織体制を検討する。また、生産現場でのデジタル人材を有成するため、推進チームの派遣を行う。県研究機関においては、農業者等と連携した技術開発を進める。 (1) データ駆動型農業を推進するための推進体制の設立 0千円 (②大将交流会等の開催賃用 386千円 ・技術交流会等の開度賃用 386千円 ・技術交流会等の開度賃用 386千円 ・技術交流会に係る講師制金、使用料 (バス、会場使用料)、パンフレット印刷費 (2) データ駆動型農業に係る技術の実証・開発 10,756千円 (1)自動操船農機をフル活用した効率的な栽培体系の実証・開発 2,458千円 ・経営体調査創金、調査責材費、適信責、使用料 (ドローン増上、RTKシステム、GISシステム、生産管理システム)、自動操能農機を有するメーカーへの委託債・業を先先: 選定中 ②施設果実における生育診断、出商予測技術の実証・開発 5,055千円 ・経営体調査創金、調査責材、遺信費、機器直検委託費、使用料 (クラウドシステム) ※委託先:オヤマダエンジニアリング朝 ③環境制御を活用した施設野業用の増設技術の実証・開発 3,24千円 ・調査責材費 (3) は物を活用した始立型栽培体系の開発・実証 2,919千円 ・調査責材費 (4) I 技術を活用した省力型栽培体系の開発・実証 2,919千円 ・調査責材費 (4) I 技術を活用した省力型栽培体系の開発・実証 2,919千円	11,14
				 ・農事組合法人千厩コントラクター組合 ・㈱リプロネクスト ※その他、選定中 	地球温暖化適応品機関発プロジェクト事業 気候変動に対応する特性、環境保全に寄与する特性の系統をDNAマーカー等を活用し選抜する。 特に、気候変動に対応した系統の選技 8,044千円 ・高温射性等の対性を持つ品機候構の選抜に係る資材、試業等消耗品、会計年度職員人件費 (2) 環境保全に対応した系統の選技 3,871千円 ・病害虫貼妊性、肥利低減等の特性を持つ品種候補の選抜に係る資材、試業等消耗品、会計年度職員人件費 (3) G I S を活用したりんご園性情報データベースの整備の促進 199千円 ・データベース活用研修会の実施 講師謝礼、講師宗貴、会場使用料 (4) 温暖化に認むし市場性が高い「5-も1等の作件実証 1,131千円 ・もも等の品種選定及びジョイント 栽培による早期成園化技術の実証及びセミナーの開催 講師謝礼、講師宗貴、会場使用料、実証に係る消耗品購入費 (5) 果樹素需害対策試験の実施 1,060千円 ・いわて登低コスト的第ファンなど凍霜密対策について試験を実施 凍霜害対策試験に係る資材费、機材レンタル料	14,30
					(1) 高温試験用眼房機 1 台 973千円 (4) 非破壊糖度計 330千円 (5) サーモグラフィ等一式 2,345千円	3,64
					環境負荷軽減型自給飼料生産拡大事業 前年度に続き、堆肥を有効活用した草地改良の実証展示及び専門家による技術研修会の開催により、地域における成果の定着を図るとともに、前年度に草地改良を 行った草地については、堆肥を活用した直地改美機し、収量調査等により、有効性を検証する。 (1) 普及員等による指導等 0千円 (自主財源) (2) 草地改良に係る委託費 11,300千円 ※委託先: 岩手花平農業協同組合、農事組合法人ミルタの郷、花巻農業協同組合、一般社団法人連野市畜産振興公社、 新岩手農業協同組合、農事組合法人千厩コントラクター組合のほか一部選定中	11,30
					いわて農林水産物DX販路開拓戦略推進事業 DX販路開拓・拡大戦略に基づく事業を展開するとともに、メタバースの県内への波及やデジタル人材の育成を行う。 (1) DX販路開拓・拡大戦略の実施 6,984千円 ・販路開拓・拡大戦略の実施 6,984千円 ・販路開拓・拡大戦略に基づ 欠陥的支援及び検証に係る委託料 ※委託先:選定中 (2) 食の総合ポータルサイト「いわて食財債業部」等オンライン活用による販路開拓モデルの構築 3,080千円 ・メタバースを活用した県産食財政路開拓モデルの構築に係る委託費 ※委託先:機リプロネクスト (3) デジタル人材の育成、982千円 ・生産者のデジタルスキル及びプランディング力向上に向けたEC講座の開催に係る委託費 ※委託先:選定中	11,04
係人口・交流人口拡大事業	R6-8年度	75,509	37,754	ニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52か所」への盛岡 市の掲載効果を一過性のものとせず、県全域に波及させることで活性化 につなげるため、デジタルマーケティングに基づく観光振興体制を整え	データマーケティングに基づく観光地域づくり事業 いわて観光 DMP等を活用した分析レポートや作成や説明会を開催するとともに、専門人材の派遣を通じてDMOの新規立ち上げに向けた支援等を行う。 ・デジタルマーケティング事業(委託制) 9,276千円 ※委託免:公益制団法人参考県観光協会	22,44
				るとともに、県内各地の特色ある特産品や観光コンテンツ等の地域資源 を最大限に生かし、関係機関等と連携したプロモーションの展開や、W E B を活用した県産品の販売促進、S N S 等を活用した本県の魅力発信 等を通じて、国内外の人々との交流が広がる地域づくりを進め、国内外からの誘客と県内周遊を促進し、観光振興を図る。	・ 観光地域づくり支援事業 (泰廷科) 13,173千円 ※委託先: 公益財団法人岩手県観光協会 FIT層の誘客促進に向けた観光コンテンツ造成事業 ニューヨーク・タイムズ紙への掲載効果を無法体に波及させ、外国人観光客の誘客を促進するため、本景の魅力を振り起こし、欧米豪市場を中心とした観光プロセーションを模態的に推進する。 (1) Googleビジネスプロフィール、口コミサイト等情報発信支援 1,619千円 ・ セミナー開催 (湯用費499千円、役務費210千円、乗託料666千円、使用料244千円) ※委託先: 側日本旅行東北區両支店 (2) N Y 知事トップセールス 12,902千円 トップセールス 2条章 (破貨幣150千円、級費655千円、役務費751千円、使用料99千円) 1,665千円 ・ 現地車両、旅行博PRプース設置等(委託科) 11,237千円 ※委託先:未確定	14,52
				【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・公益財団法人岩手県観光協会 ・㈱日本旅行東北盛岡支店 ・㈱ジェイアール東日本企画	東北各県と連携した外国人観光客誘客プロモーションの展開 東北各県等や脚柄機関と連携して外国人観光客誘客プロモーションを展開し、東北全体への周遊・誘客を促進し、本県への観光客の入込み・宿泊者数増加による観 光消費額拡大を図る。 タイ、台湾市場を対象としたプロモーション事業(報復費60千円、役務費250千円、委託料9,748千円、使用料40千円) 10,098千円 海委託先・御ジェイアール東日本企画、朝ジェイアール東日本企画盛間支社、その他 2 件未確定	10,09
				・ (株)ジェイアール東日本企画盛岡支社 ・ (株)銀杏社 ・ (株)テレビ岩手	外国人観光客の県内周遊の促進による交流人口の拡大を図るため、海外旅行会社等と連携し、いわて花春空港を起点とする県内周遊プロモーションを展開する。 - 国際線運動計開に係る知事トップセールス等の実施(報償費150千円、旅費613千円、使用料75千円) 838千円 文化芸術等を通じた岩手の魅力発信事業 マンガをはじめとするメディア芸術や文芸作品等を活用した本県の魅力発信、本県の文化芸術・伝統芸能・障がい書芸得イベント等の映像配信を通じた魅力発信及	9,42
				・楽天グループ株式会社 ※その他選定中。	マクフをはしめこう のメアイド会前で火気で出る。全活用した平泉の魅力形乱、平泉の火化会物・比較会能・陣かい資金物イベアトラの映像配信を選した他力所出及 がS N S等を活用した情報信を実施する。保証料 9.422千円 ※委託先: 物級香社、柳テレビ岩手、その他 2 件未確定 地域資源を生かした情産品等のW E B 西賀店 (仮称) の設置 ・ 大手E C を活用した販売促進・事業者育成・発信 (委託料) 11,001千円 ※委託先: 漢文グループ株式会社 (6) 中央財助総計予定)	11,02
					・ 事務費 (消耗品費) 20千円 海業選生モデル (1) 海東ビジネモデルづくり支援 4,928千円 SNS等による誘客などデジタルを活用した漁村の交流人口拡大・漁業者の所得向上に関連する取組の企画コンサルティング及びモニターツアーを実施する。 (委託料) ※委託税: 企画コンペにおいて選定予定 (2) 海業者及啓発 450千円 海楽の理解観成を図るため、漁業者や民間団体等を対象に、全国の倭良事例の紹介や課題解決に向けた意見交換などを行うシンポジウムを開催する。(報債費52 千円、鉄費(職員除く) 353千円、傷用費9千円、使用料36千円)	5,37
					SNSでの情報発信の質・量の向上 県民とのコミュニケーションを強化し、県民の地域づくりや県政の重要課題等に共同で取り組む意識を譲成するため、動画編集に必要な環境を整備し、タイムリー に情報を発信する。 (1) 動画編集環境等の整備(後務費317千円、使用料145千円) 462千円 (2) LINEを利用した広韓及び広節の充実(使用料) 1,320千円	1,78

★地方創生関連交付金を活用したR6年度事業における交付金の具体的な使途等について

事業名	事業期間	R6年度事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	事業概要等	交付金の具体的な使途(申請時点)	対象経費 (千円)				
移住・定住・雇用応援プロジェクト	R6-8年度	R6-8年度	R6-8年度	R6-8年度	R6-8年度		71,411	高校生・大学生に向けた岩手で働く魅力・価値の発信や、県内企業によるインターンシップへの参加促進などの取組により、若者の県内企業への就職につなげるとともに、働き方改革などによる魅力ある職場づくりを進めることにより、多種多様な業種における人材の育成・確保・定着を図る。 【事業実施体制】 一部、下記事業者に委託し、事業を実施。 ・富士通 Japan(株)・(株)でイナビ・(合同)ボームシックデザイン・認定NPO法人ふるさと回帰支援センター・川口印刷工業株式会社・株式会社岩手日報広告社・株式会社部一プログレス・公益社団法人岩手県農業公社※その他選定中。	移住・定住の境プロジェクト 【韓級院国等の強化】	70,661
					移住・定住北援プロジェクト 【受入態勢等の強化】 1 いわて移住・定住促進事業: 総額34,563千円 (報債費・旅費・役務費・委託費・使用料・負担金) (1) いわて変住・交流促進連絡協議会の活動による移住促進体制の強化 3,561千円 協議会事任職員の継続配置 (相談対応等) (2) 首都圏での相談窓口の機能強化 15,274千円 ※委託先: 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター 東京・有案即の「ふるさと回帰支援センター」への当手県アースの総統選用 (3) 移住生産化ポータルサイトによる情報保信 1,995千円 ※要託先: 川口即口工業株式会社 総合サイトの継続選用。市町村と連携し、支援制度・イベント情報・移住者事例などを随時発信 (4) 首都圏ペントでの相談機会の創出、岩手フアン拡大 6,279千円 ※「県主催移住フェア」委託先:株式会社岩手日報広告社 首都圏での「県主保移任フェア」の開係、他団独生催イベントへの出展 (5) 移住者受入れ体制の強化・支援 2,369千円 無「県主催移住フェア」委託先:株式会社第一プログレス 移住希望者の拡大と、継続支援・移住前の当モディールの出展 (6) 首都圏での移住衛祉等の総括のな変集・総住前のこまニティ形成 5,088千円 ※委託先:株式会社第一プログレス 移住希望者の拡大と、継続支援・移住前の移住者コミュニティ形成を目的とした首都圏での連続調産の開催 2 住宅ストックリノベーション事業: 総額860千円 (委託費) (企画・運営費480千円、講師調金・旅費345千円、会場費35千円) 空き家法用等の事業に取り組む法人等を講師として、各市町村の空を家担当者前けに、空き家を活用した移住・定住促進の施策検討 (空き家を活用した効果的な事業手法等)を学ぶ改策立案ワークショップを開催し、移住及び定住の促進に資する事業の実施等、移住者等に対する支援につなげる。	35,423				
					雇用応援プロジェクト 【県内企業の魅力の上】 1 魅力ある職場で、財進事業:総額1,237千円 (委託费) ※委託先:富士通Japan株式会社 ・ 県内企業における能力ある職場環境で、9の推進に向けたセミナーの実施や、アドバイザー派遣による作走型支援を実施 セミナー実施・アドバイザー派通等実施委託費 1,237千円 ①人件費 791千円 ②会場使用料 32千円 ③周知チラシ作成費 35千円 ④郵送料 164千円 ④管理乗・消費税 215千円 ② アスリート県内雇用支援事業:総額849千円 (補助金) (公別) 岩手県体育協会やジョブカフェいわてなどと連携し、各競技分野におけるオリンピアンなど有名なアスリートの県内就業を進めることにより、雇用した企業の価値・認知度・魅力を向上させ、若者のリ・メニンが販売より一層推進する。・マッチング支援員の委託に係る補助 (雇用支援員配置に係る費用)	2,086				
					羅用応援プロジェクト【ものづくり人材の育成・確保】 1 ものづくり人材の育成・確保事業・総額 29.376千円 本県経済をけん引するものづくり産業を支える人材の育成・確保に向け、県内各地域において産学官で構成する地域ものづくリネットワーク等が中心となり小学生から企業人法での各份限に応じ人材育成に対り組むと (1) 小中学校対象(後見・保護者さな) 924千円 ・理工系の女子大学生と連携したものづくリクペントの開催(報債費・旅費205千円、役務費30千円、使用料25千円) ・地域産業や企業を知るための出前授業・企業見守会(報債費・旅費256千円、使用料44千円) (2) 高校対象(後負・保護者含む) 13.493千円 ・ 工業系の女技出等の表と書きないのよりは参拝集(報債費・旅費50千円、使用料44千円) ・地域産業や企業を知るための出前授業・企業見学会(報債費・旅費157千円、役務費194千円、使用料12.637千円) ・地域産業や企業を知るための出前授業・企業見学会(報債費・旅費15千円、役務費43千円、使用料12.637千円) (3) 高等容育機関対象 906千円 ・地域産業や企業を知るための企業見学会(使用料906千円) (4) 企業対象 624千円 ・企業見学会等の効果を高めるための企業見学会(使用料906千円) (5) 体制整備 13.429千円 ・いわて産業人材育成会議(本県の産業人材育成体制を構築するための産学官の有議者を集めた会議)の開催 (旅費56千円、使用料26千円) ・ 各地域へのものづくリネットワークコーディネーターの配置 (報債費・旅費13.347千円)	29,376				
					羅用応援プロジェクト【農業分野の移住・就農】 1 いわて移住・羅用就農促進事業: 影類5,277千円(委託費) 米委託先: 公益社団法人岩手飛農業公社 雇用拡大を希望する農業法人等を対象に、業務内容、雇用条件、希望する雇用人数等に係るリストを整備した上で、県外から移住、県内での就農を希望する者と のマッチングを行うとともに、マッチング事例集を作成する。 雇用就農フッチングに係る委託費(5,277千円) ・ 人件費	5,277				
半導体関連人材育成推進事業	R6-8年度	9,436	4,718	2025年度に開所予定の半導体製造装置を備えた人材育成施設を活用しながら、産学官が連携し、地域企業の特性とニーズに合った半導体関連人材の育成・確保を推進するため、「半導体関連企業の在職者や参入を発望する地場企業の従業員を対象とした人材育成研修の開催」、「大学・高専等と県内企業等が連携した企業見学や実習等の実施」及び「小中高生等を対象とした分解展示・出前講座等による、ものづくり・半導体関連産業等を知る機会の創出」の取組を行う。また、安定した人材確保のため、外国人材と企業のマッチング機会を創出する。 【事業の実施体制】 公益財団法人いわて産業振興センターに委託し、事業を実施。		9,436				